

令和2年度の重点課題

○男子は、実施種目で全国平均より全て低く、女子においても全ての種目で低い状況にある。

○男女ともに、体育の授業以外で運動やスポーツを行う生徒が少ない。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○できる種目・自信がある種目を1つ作るために、卓球、バドミントンを通年で行った。

○新体カテストができるように備品を揃えた。

令和3年度新体カテストの結果(県平均値(令和元年度)・全国平均値(令和元年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	
第2学年	37.85	14.69	40.00	28.17				185.27			第2学年	23.40	7.20	31.60	21.00				128.40			

県平均値かつ全国平均値未満

令和3年度新体カテストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	
第2学年	37.85	14.69	40.00	28.17				185.27			第2学年	23.40	7.20	31.60	21.00				128.40			

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第2学年	0.00	61.54	38.46	0.00	第2学年	0.00	20.00	60.00	20.00

学校独自の意識調査

特になし

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

重点課題

①情意面での課題

【男子】

・特定の種目においては、興味関心が高い生徒の割合が高いが、約4割の生徒が運動に苦手意識を持っている。

【女子】

・6割の生徒が運動に苦手意識を持っている。

②体力面での課題

【男子】

・特に昨年度の全国平均と比べて、反復横跳び、上体起こしが低い。

【女子】

・特に昨年度の全国平均と比べて、反復横跳び、上体起こしが低い。

● 情意面での課題に対する取組

【男子】

・苦手意識の強い生徒だけでなく、すべての生徒が活動する事で技能が高まっていることを実感できるポートフォリオを作成、活用し意欲につなげる。

【女子】

・得意種目、好きな種目を見つけられるように多くの種目を経験させる。
・ヨガ等の体ほぐし運動を行い、体と心は連動していることを意識させる。

● 体力面での課題に対する取組

・「反復横跳び」 → 卓球・バドミントンの授業で横の動きを意識したフットワークを取り入れる。

・「上体起こし」 → 剣道の授業で腹筋を意識した素振りを意識させる。

令和4年度の目標値

- 運動が好きと答えられる生徒を全体の10%に増やす。
- 「反復横跳び」の学校平均値を男女ともに30回にする。
- 「上体起こし」の学校平均値を男子は20回、女子は10回にする。